

「とちぎ子どもの未来創造大学」で山地防災講座を実施しました！

令和5年8月2日に「とちぎ子どもの未来創造大学」として 森林の働きと土砂災害の怖さを知ろうをテーマに宇都宮市立南図書館で講座を実施しました。

当日は児童、保護者合わせて35名を対象に「森林の多面的機能」「土砂災害」「日頃からできる備え」についての座学及び土砂災害の模型実験を行いました。

山地防災のためには工事等のハード対策だけでなくソフト対策が重要となってくることから、県では引き続き講習会等の普及啓発活動に力を入れていきます。



講習会実施状況



講習会実施状況

R5年度 県内における災害発生状況について



大田原市亀久地内

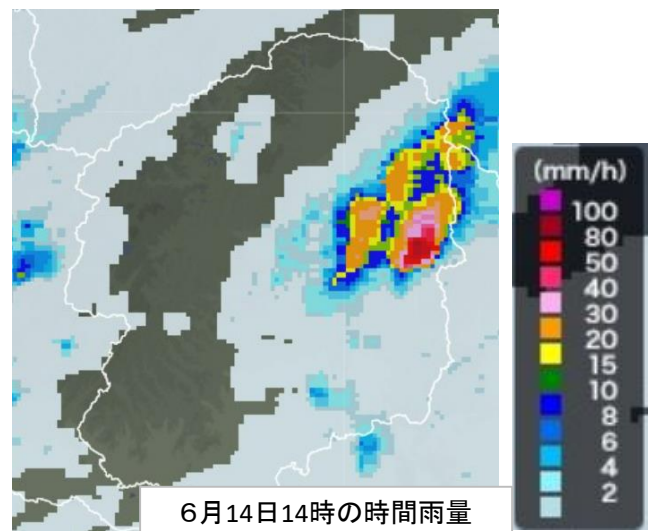


那珂川町馬頭地内

R5年度は突発的な豪雨により県内各地で小規模な山地災害が発生しています。

特に6月14日に大田原市から那珂川町にかけて集中した豪雨により多数の被害が発生しました。(馬頭雨量観測局(県)最大日雨量188mm、最大時間雨量74mm)。

那珂川町馬頭地内では土砂崩れにより駐車場に土砂を流出させるなどの被害がみられました。



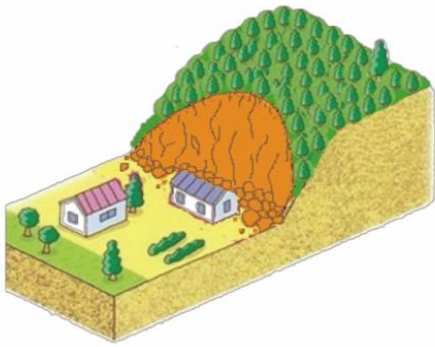
6月14日14時の時間雨量

三つの山地災害とは？

山地災害とは、山林に起因して発生する自然災害のことです。樹木の根は垂直及び水平方向に伸びており土壌の流出や崩壊の発生を抑制していますが、その機能には限界があるため異常な自然現象（集中豪雨や地震）により山地災害が発生します。

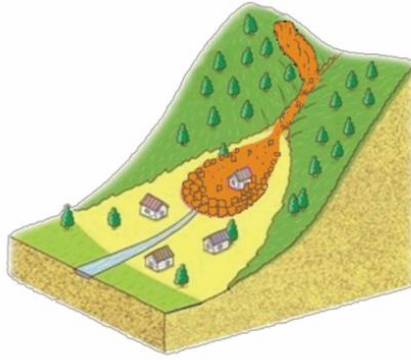
また、日本は「急峻な地形」「降雨量が多い」など山地災害の発生しやすい要因を多く持っています。なお、山地災害の種類としては以下の3つがあります。

1 山くずれ



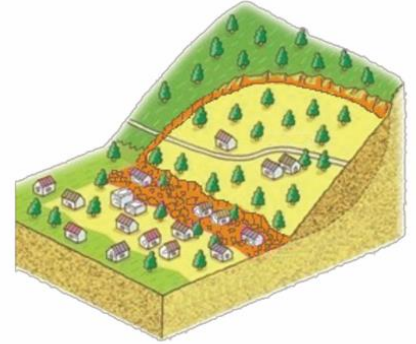
山の斜面が強い雨や地震によって突然崩れ落ちる現象

2 土石流



大雨等により大量の土や石が沢の水と一緒に一気に流れ落ちる現象

3 地すべり



地下水の影響によって斜面の広い範囲がゆっくと滑り落ちる現象

日頃からの備えが大切です！

1 身近にある危険な箇所を確認しよう

各市町のハザードマップやホームページから身近にある危険な場所を確認しておきましょう。

2 避難場所・避難経路を調べよう

どこに避難するか、安全な道はどこなのか知っておくことが大切です。家族とどこへ避難するか話し合っておきましょう。また、いざというときの安否確認方法も話し合っておきましょう。

3 非常持ち出し品を準備しよう

落ち着いて避難できるように以下の非常持ち出し品を準備しておきましょう。非常持ち出し品は、玄関や寝室の近く（家族みんながわかる場所）に置いておくといでしょう。また、両手が使えるようにリュックサックに入れましょう。

- 飲食料
- 医療品
- 衣類
- ラジオ
- 懐中電灯
- 軍手
- 防災頭巾、ヘルメット等
- 毛布
- 電池
- ライター
- ろうそく
- 缶切
- ナイフ
- 現金
- その他大切な物 など

